

4 外部評価

家庭、地域と力を合わせて、よりよい学校をつくるために

(1) 外部評価の意義

外部評価とは

学校で行う教育活動や学校運営に関して学校があらかじめ定めた項目について、保護者や地域の人々などから評価をしてもらうとともに、その評価結果を公表して、意見を聴取し、自己評価に生かすことを言います。

導入のメリット

教職員以外の人々の意見を取り入れることによって、学校が行う自己評価の客観性・妥当性を高め、よりよい学校、信頼される学校を築くことができます。

また、教育の課題を共有することで、保護者や地域の人々などと力を合わせて学校づくりを進めることができます。

(2) 外部評価の実施方法

外部評価を行う際には、「どの項目を」「誰に」「いつ」「どうやって」評価してもらうのがよいかについて、各学校が決定することが大切です。

「どの項目を」(評価項目)

学校の教育活動や学校運営の中から、重点活動を中心に外部評価を行うことによって、より改善が図られると考えられる項目を選び、外部評価の対象とします。

「誰に」(評価者)

評価者は、評価対象(評価項目)について十分に知っている必要があります。

外部評価の実施に当たっては、学校が決定したそれぞれの評価項目について、保護者、学校評議員など、誰に評価を依頼すれば、よりの確な評価が行われるかを考え、決定します。

「いつ」(評価場面)

それぞれの項目を、どのような場面で評価してもらうのがよいかを考えます。

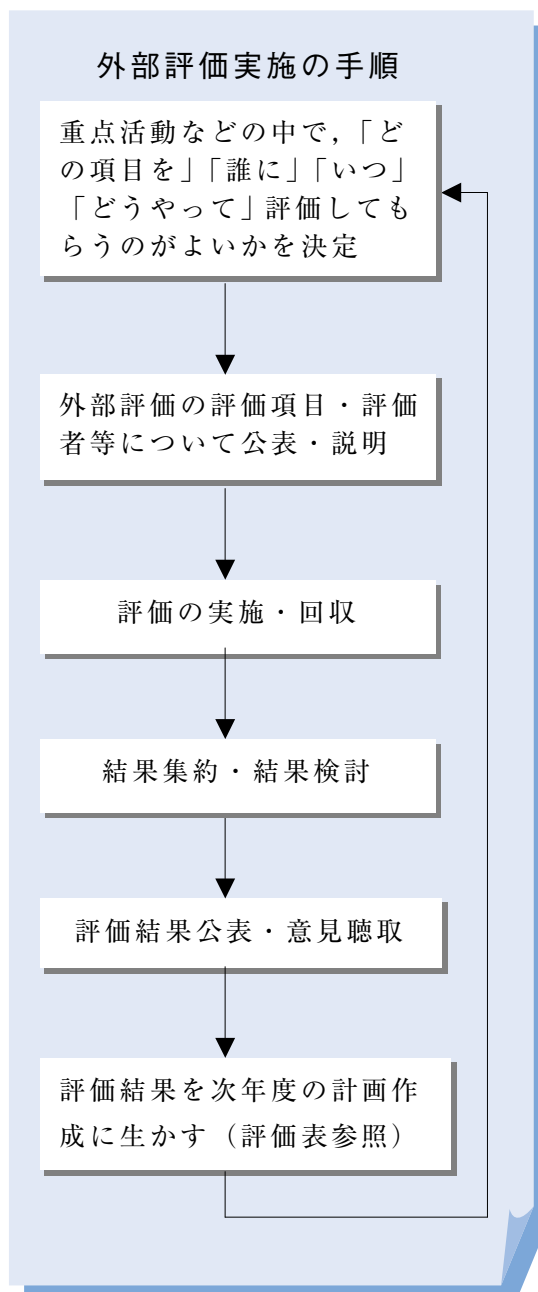
P T A総会や文化祭など、諸行事の折に行うことも考えられますし、学期末など、特定の日を決めて行うことも考えられます。

「どうやって」(評価方法)

それぞれの項目について、アンケート調査、個別の意見聴取など、評価者から最もよく意見を収集することができる方法を考えます。

たとえば，こんな外部評価が考えられます

評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の重点目標 ・本年度の重点活動 ・校内における児童生徒の状況 ・校外における児童生徒の状況 ・授業 ・学校運営 ・学校自己評価システム など
評価者	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者 ・学校評議員 ・地域の人々 ・社会人講師 など
評価場面	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初のPTA総会 ・地区PTA懇談会 ・保護者面談日 ・授業参観日 ・学校評議員会開催日 ・文化祭一般公開日 ・授業公開日 ・通常の授業日 など
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査 ・会の議題として検討 ・個別に意見聴取 ・記録簿等に自由記入 ・インターネットの書き込み板の活用など



MEMO

外部評価に関する留意事項

- 外部評価は，学校自己評価の客観性を高め，家庭や地域とともに学校づくりを進めるために欠かすことはできませんが，学校の自己評価を補い，支えるものであることを押さえておく必要があります。
- 外部評価は，重点目標などに絞って意見を求める場合と，教育活動全般にわたって意見を求める場合とが考えられます。
- 外部評価の内容が決定したら，実施する前に，ホームページ，学校通信，様々な集会等を通じて，その内容を公表することが大切です。

(外部評価の例は，資料編のP31～P34を参照してください。)